

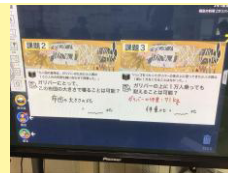
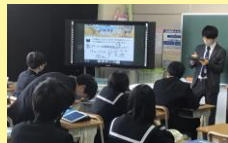
リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

松阪市立三雲中学校（三重県）

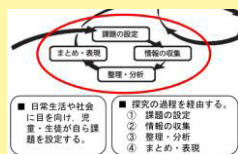
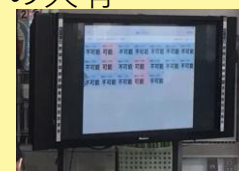
【取組内容】 可視化された情報の活用



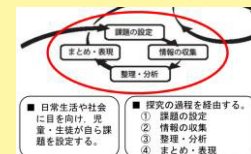
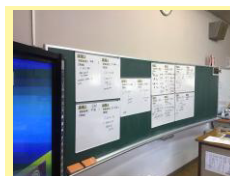
興味をひく導入（課題設定）



難易度の高い課題に対する見通し（予想）の共有



デジタル（個人思考）とアナログ（4人班での意見交流）の融合



自分で必要な情報を選択して、3つの課題に対するまとめを行う



本校では各教科の授業において、総合的な学習の時間における探究のプロセスを組み込んでいる。上記の実践事例（3年数学）では、課題設定の工夫により生徒が課題意識を持ち、情報収集の場面ではタブレットを用いて課題に対する見通しを全体共有している。そして、個人ではタブレットを用いて思考を整理し、授業者が適宜声かけをしながらグループではホワイトボードを用いて情報を分析している。その情報をもとに、課題解決のために必要な情報を自分で選択し、課題に対するまとめを行なっている。